

令和2年度第1回高知県地域医療構想調整会議  
(中央区域 高知市部会) 随時会議

令和2年9月17日(木)  
18時30分から20時30分まで  
高知共済会館3階 大ホール「桜」

## 会議次第

1 開会

2 議題

- (1) 地域医療連携推進法人の設立について 資料1
- (2) 令和元年度病床機能報告の状況等について 資料2
- (3) 新型コロナウイルス対応に係る病床の転換等について 資料3
- (4) 外来医療計画に係る届出の状況について 資料4

3 閉会

## 令和元年度病床機能報告の状況等について

# 病床機能報告制度について

病床機能報告とは、地域の医療機関が担っている医療機能の現状把握、分析を行うため、医療法に基づいて、**一般病床・療養病床を有する病院・診療所**が、当該病床において担っている医療機能の現状と6年後の方向について、**病棟単位で、「高度急性期機能」、「急性期機能」、「回復期機能」、「慢性期機能」の4区分から1つを選択し、報告するとともに、医療設備、人員体制、医療行為の内容についても報告を行う**ものです。（毎年7月1日時点の状況）

## 【医療機能の名称及び内容】

医療機能区分	医療機能の内容
高度急性期	○急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度の高い医療を提供する機能
急性期	○急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期	○急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 ○特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復リハビリテーション機能）
慢性期	○長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

※留意事項：病床機能報告と病床の必要量（必要病床数）は算出方法が異なるため、単純比較ができない。

病床機能報告： 主観的な区分（各医療機関の自主的な選択） = 病棟を単位とした区分

病床の必要量： 客観的な基準（医療資源投入量より算出） = 日々の患者を単位とした区分

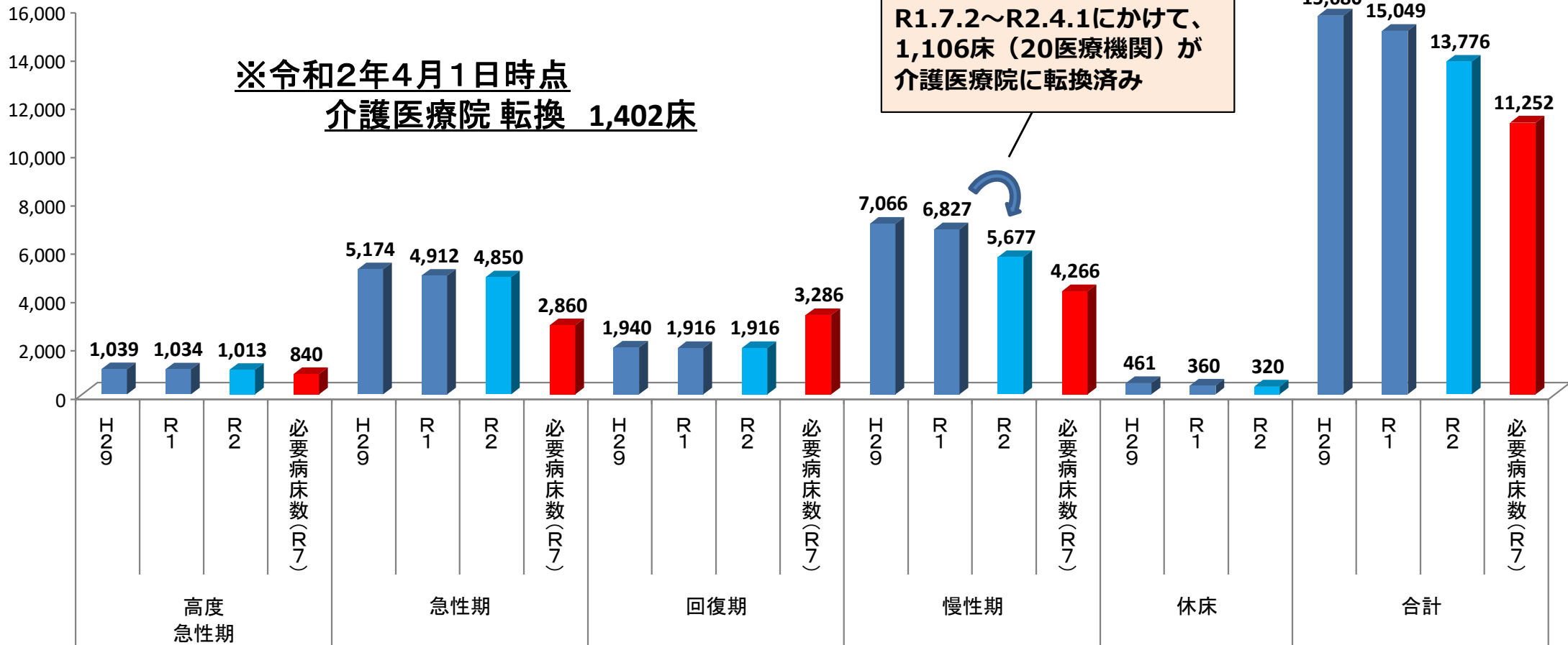
# 高知県の病床の状況について

## (1) 高知県全体の状況

- ・ H29、R 1の数値は、病床機能報告（各年7月1日）のもの。
- ・ R 2の数値は、R 1の病床機能報告の数値に、その後の病床減、病床転換の状況を反映させたもの。

※令和2年4月1日時点  
介護医療院 転換 1,402床

R1.7.2～R2.4.1にかけて、  
1,106床（20医療機関）が  
介護医療院に転換済み



- ・ 高知県全体のR 1 病床機能報告については、H29（H30）報告と比較して大幅な動きなし。
- ・ 急性期病床、慢性期病床について減少傾向にある。
- ・ R2.4.1時点では、慢性期病床から介護医療院への転換が大きく進んだこともあり、慢性期病床が大幅に減少。

※留意事項：病床機能報告と病床の必要量は算出方法が異なるため、単純比較ができない。

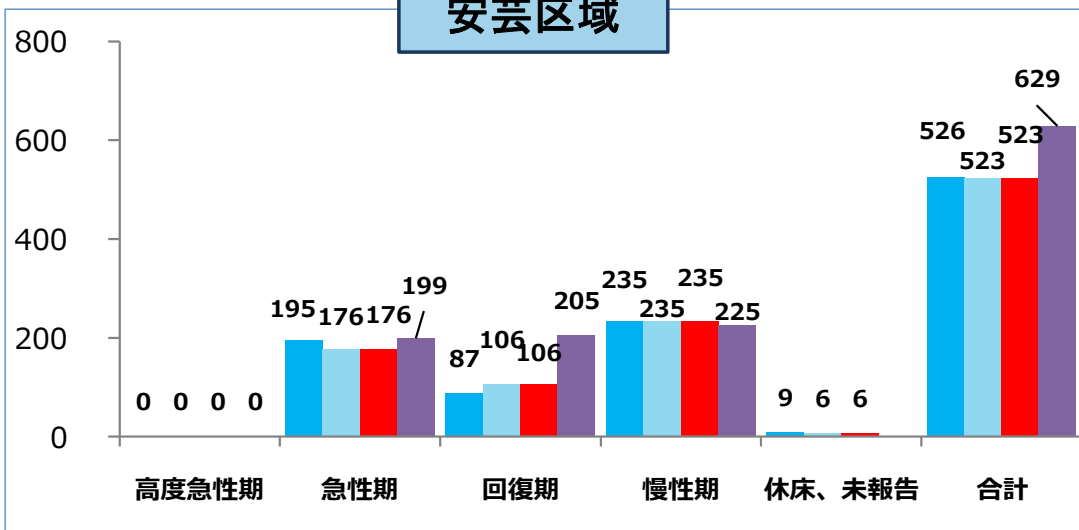
## (2) 各構想区域の状況

■ H29病床機能報告数  
■ R1 病床機能報告数

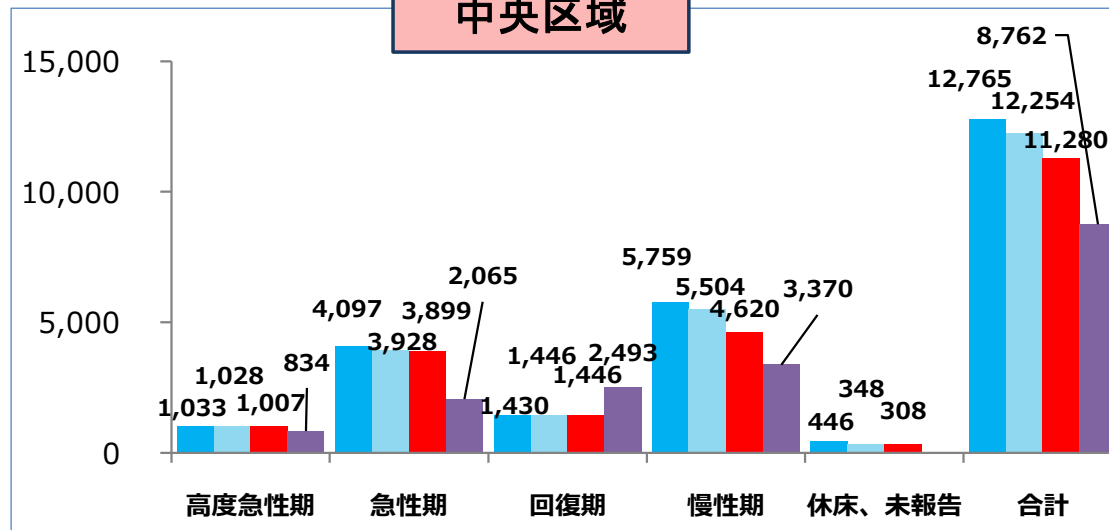
■ R2.4.1時点の病床数  
■ R7病床数の必要量(将来の推計数)

(単位: 病床)

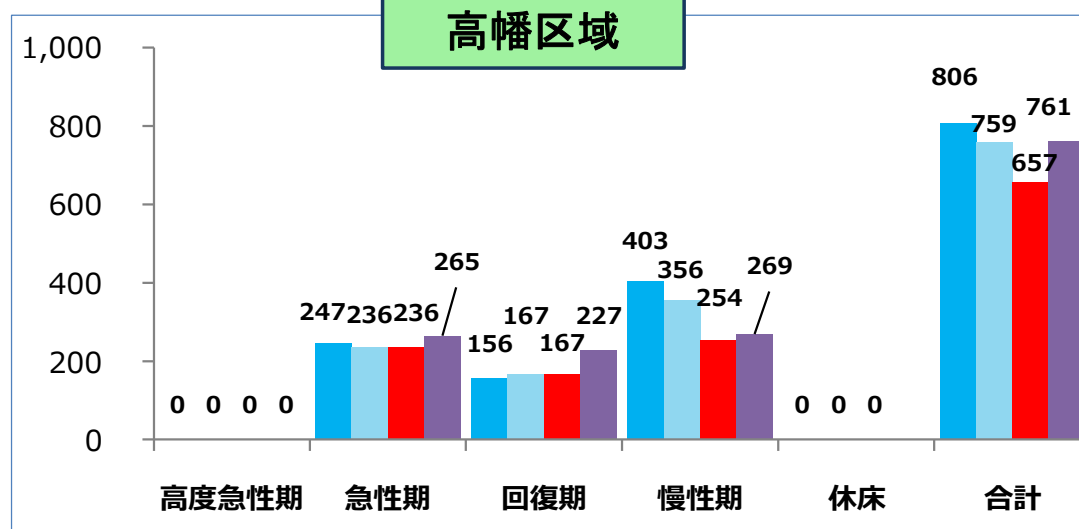
### 安芸区域



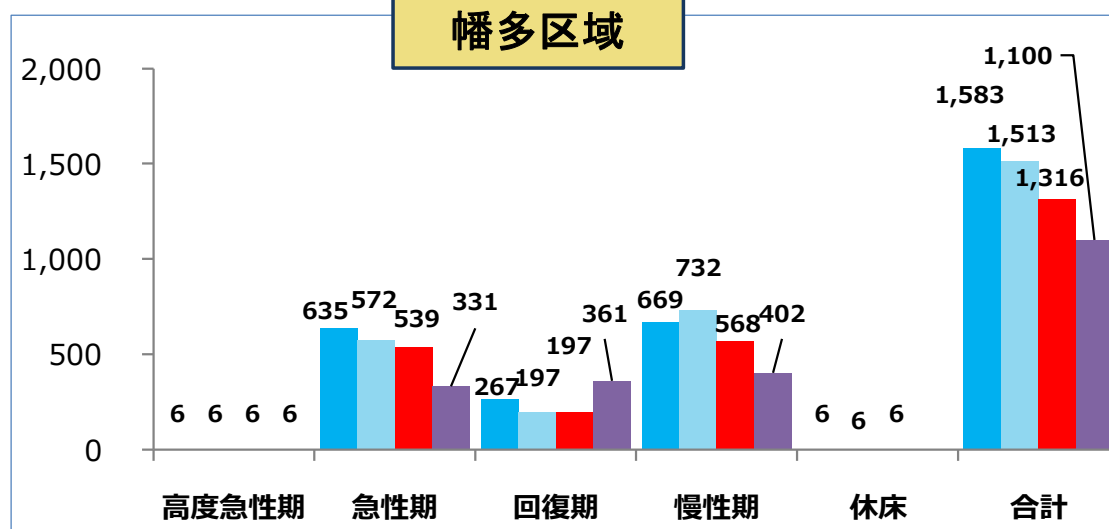
### 中央区域



### 高幡区域



### 幡多区域



- ・ 機能別に見ると一部の区域を除き急性期、慢性期が過剰であるが、全体的に回復期が不足しており機能が偏在。
- ・ 中央区域に病床が集中しており、区域間での偏在がある。
- ・ 現在の病床数とH37病床数の必要量を比較した場合、中央区域及び幡多区域では病床数が過剰となっている。

# 高知市の病床の状況について

		県計	安芸	中央					高幡	幡多
				計	物部川	嶺北	高知市	仁淀川		
高度急性期	R1	1,034	0	1,028	390	0	638	0	0	6
	R2	1,013	0	1,007	390	0	617	0	0	6
	必要病床数(R7)	840	0	834	167	0	667	0	0	6
急性期	R1	4,912	176	3,928	500	55	2,986	387	236	572
	R2	4,850	176	3,899	500	55	2,997	347	236	539
	必要病床数(R7)	2,860	199	2,065	415	39	1,335	276	265	331
回復期	R1	1,916	106	1,446	199	0	1,075	172	167	197
	R2	1,916	106	1,446	199	0	1,075	172	167	197
	必要病床数(R7)	3,286	205	2,493	500	47	1,612	334	227	361
慢性期	R1	6,827	235	5,504	986	305	3,475	738	356	732
	R2	5,677	235	4,620	926	193	2,939	562	254	568
	必要病床数(R7)	4,266	225	3,370	677	63	2,179	451	269	402
休床	R1	360	6	348	151	0	177	20	0	6
	R2	320	6	308	151	0	137	20	0	6
合計	R1	15,049	523	12,254	2,226	360	8,351	1,317	759	1,513
	R2	13,776	523	11,280	2,166	248	7,765	1,101	657	1,316
	必要病床数(R7)	11,252	629	8,762	1,759	149	5,793	1,061	761	1,100
介護医療院への転換	R1	243	0	151	0	0	151	0	47	45
	R2	1,106	0	887	54	100	575	158	99	120

※ 中央区域(物部川、嶺北、高知市、仁淀川)の必要病床数(R7)は、中央区区域の病床の必要量を、各サブ区域の推計人口で按分した推計値。

# 介護医療院への転換状況について（高知市）

区分	ID	施設名称	高度急性期				急性期				回復期				慢性期				休棟等				介護保険施設等へ移行予定など				合計			
			H30	R1	R1末	R7	H30	R1	R1末	R7	H30	R1	R1末	R7	H30	R1	R1末	R7	H30	R1	R1末	R7	H30	R1	R1末	R7	H30	R1	R1末	R7
病院	15	愛宕病院	0	0	0	0	225	225	225	225	50	50	50	50	217	217	79	79	0	0	0	0			138		492	492	354	354
	52	朝倉病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	312	312	168	168	0	0	0	0			144		312	312	168	168
	18	高知総合リハビリテーション病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	202	202	202	202	0	0	0	0	53				202	202	202	202
	47	高知城東病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	243	92	92	92	0	0	0	0		151			243	92	92	92
	49	上町病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	179	179	92	92	0	0	0	0			87		179	179	92	92
	6	三愛病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146	143	98	98	0	0	0	0			48		146	143	98	98
	36	永井病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92	92	40	40	0	0	0	0			52		92	92	40	40
	19	中ノ橋病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80	80	51	51	0	0	0	0			29		80	80	51	51
	45	山村病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78	78	33	33	0	0	0	0			45		78	78	33	33
	40	土佐田村病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	90	90	54	0	0	0	0			36		90	90	90	54
	25	平田病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	56	24	24	0	0	0	0			32		60	56	24	24
高知市サブ区域合計（A）			656	638	617	704	3,021	2,986	2,997	2,827	1,039	1,075	1,075	1,141	3,669	3,475	2,939	2,805	256	177	137	134	53	151	575	134	8,641	8,351	7,765	7,611
H37高知市サブ区域病床の必要量（B）			667 (834)				1,335 (2,065)				1,612 (2,493)				2,179 (3,370)								5,793 (8,762)							
差((A)-(B))			▲ 11	▲ 29	▲ 50	37	1,686	1,651	1,662	1,492	▲ 573	▲ 537	▲ 537	▲ 471	1,490	1,296	760	626									2,848	2,558	1,972	1,818

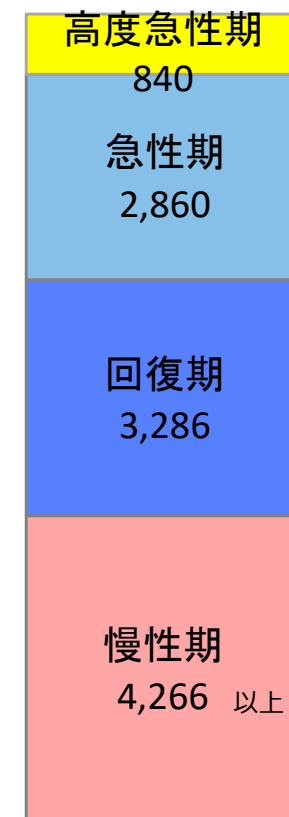
# 地域医療構想の実現に向けた病床転換の流れ（R2.4.1時点）

R2.4.1時点の病床数  
**13,776床**



転換支援策や地域医療構想調整会議等での議論を踏まえて、  
各医療機関の自主的な転換を支援

R7「病床の必要量」  
**11,252床以上**



①回復期機能への転換支援 + ②病床のダウンサイジング支援 + ③定量的な基準による急性期回復期の精査

約4.1割減 (△1,990床)

約1.7倍増 (+1,370床)

約2.5割減 (△1,411床)

H30～R1にかけて、**1,402床**  
(23医療機関)が介護医療院  
へ転換済み

④療養病床からの介護医療院等への転換を支援

介護施設  
在宅医療等  
**4,739人**



# 地域医療構想の推進に向けた支援策について（詳細版）

## 1. 介護医療院や不足する病床機能への転換に向けた経営シミュレーション等への支援

【事業内容】 医療機関が事前に実施する、病床転換における経営、収支シミュレーション等を外部に委託し実施する際の費用に対して補助を行う。

【補助要件】 ①医療機能における回復期以外の一般・療養病床を、回復期の病床へ転換  
②介護医療院を含む介護保険施設や有料老人ホーム及びサ高住等への転換



## 2. 複数の医療機関等の連携の在り方や地域医療連携推進法人への設立に向けた検討の支援

【事業内容】 地域で複数の医療機関による、地域の現状や課題、今後の医療機関間の連携の在り方や、地域医療連携推進法人の設立に向けた検討など、医療機関間で機能分化及び連携を検討を行う郡市医師会や医療機関に対し、その際の費用に対して補助を行う。

## 3. 回復期機能を持つ病床への転換のための支援

【事業内容】 回復期リハビリテーション病棟又は地域包括ケア病棟等として必要な病棟の新設、増改築、改修を行う際の費用に対して補助を行う。

- ①施設の新築・増改築
- ②施設の改修
- ③医療機器等の購入
- 拡** ④施設の設計費用

## 4. 病床のダウンサイジングを行う際の施設の改修、処分に係る経費などへの支援

### (1) ダウンサイジング実施の際の施設の改修、処分に係る経費への支援

【事業内容】 病床の削減及び転換する際の下記の費用に対して補助を行う

- ①退職が必要となる看護師等に対する退職金の上乗せ費用
- ②不要となる病室を他の用途に改修するための費用
- ③不要となる建物を処分することによる費用

**拡** ④病床の削減に伴い、病棟の新築、増改築又は改修を行うための費用



### (2) ダウンサイジング実施の際の看護師転職への支援

【事業内容】 病床の削減及び転換をする際の看護師転職の支援に必要な下記の費用に対して補助を行う

- ①研修期間中に実際に送り出した人数及び日数に対する医療機関の負担軽減に係る費用
- ②看護職員等が再就職に向けて他の医療機関等で体験研修を実施した際の受け入れ側施設に対する報償費
- ③再就職を支援するために必要なノウハウ等について外部講師を招聘する費用

# 支援策（病床転換関係補助金）の交付実績について

事業年度	所在地名	種別	補助金名	事業区分	事業内容
平成29年度	高知市	病院	病床機能分化促進事業費補助金	回復期病床への転換（15床）	急性期機能を持つ病床から、回復期機能を持つ病床への転換に伴う病棟の施設整備、設備整備費用に対して補助を行ったもの（15床）
平成29年度	佐川町	病院	病床機能分化促進事業費補助金	回復期病床への転換（6床）	慢性期機能を持つ病床から、回復期機能を持つ病床への転換に伴う病棟の施設整備費用に対して補助を行ったもの（6床）
令和元年度	高知市	病院	病床機能分化促進事業費補助金	回復期病床への転換（15床）	慢性期機能を持つ病床から、回復期機能を持つ病床への転換に伴う病棟の施設整備、設備整備費用に対して補助を行ったもの（15床）
令和元年度	高知市	病院	病床転換支援事業費補助金	病床転換に係る経営収支等のシミュレーション	慢性期機能を持つ病床から、回復期機能を持つ病床又は介護医療院へ転換する際の収支シミュレーション等の費用に対して補助を行ったもの。
令和元年度	田野町	病院	病床転換支援事業費補助金	病床転換に係る経営収支等のシミュレーション	急性期機能を持つ病床から、回復期機能を持つ病床へ転換する際の収支シミュレーション等の費用に対して補助を行ったもの。
令和元年度	須崎市	病院	病床転換支援事業費補助金	病床転換に係る経営収支等のシミュレーション	慢性期機能を持つ病床から、介護医療院に転換する際の収支シミュレーション等の費用に対して補助を行ったもの。
令和2年度	高知市	病院	病床機能分化促進事業費補助金	回復期病床への転換（49床）	急性期機能を持つ病床から、回復期機能を持つ病床への転換に伴う病棟の設備整備費用に対して補助を行ったもの（49床）
令和2年度	高知市	病院	病床機能分化促進事業費補助金	病床のダウンサイジング（12床）	急性期機能を持つ病床（12床）の削減に伴い不要となる建物の撤去費用及び建物の処分に係る損失に対して補助を行ったもの。

各都道府県知事殿

厚生労働省医政局長

(公 印 省 略)

### 具体的対応方針の再検証等の期限について

地域医療構想（医療法（昭和23年法律第205号）第30条の4第2項第7号に規定する地域医療構想をいう。以下同じ。）における具体的対応方針の再検証等について、下記のとおり対応することとしたため御了知いただくとともに、本通知の趣旨を貴管内市区町村、関係団体、関係機関等へ周知いただくようお願いする。

なお、本通知は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第245条の4第1項の規定に基づく技術的助言であることを申し添える。

### 記

#### 1. これまでの経緯

「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について」（令和2年1月17日付け医政発0117第4号厚生労働省医政局長通知）においては、当面の具体的対応方針の再検証等に係る対応について、「都道府県においては「経済財政運営と改革の基本方針2019」における一連の記載を基本として、地域医療構想調整会議での議論を進めていただくようお願いする」と整理していたところである。

その後、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、「具体的対応方針の再検証等の期限について」（令和2年3月4日付け医政発0304第9号厚生労働省医政局長通知）において、2019年度中とされた再検証等の期限に関しては厚生労働省において改めて整理するとしたところである。（※）

※ 「経済財政運営と改革の基本方針2019」（令和元年6月21日閣議決定）においては、具体的対応方針の再検証等の期限について、「2019年度中（※医療機関の再編統合を伴う場合については、遅くとも2020年秋頃まで）」とされている。

#### 2. 「経済財政運営と改革の基本方針2020」を踏まえた対応

今般、「経済財政運営と改革の基本方針2020」（令和2年7月17日閣議決定）において「感染症への対応の視点も含めて、質が高く効率的で持続可能な医療提供体制の整備を進めるため、可能な限り早期に工程の具体化を図る。」とされたところである。また、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた今後の医療提供体制について、「社会保障審議会医療部会」において議論を開始したところである。

このため、「2019年度中（※医療機関の再編統合を伴う場合については、遅くとも2020年秋頃まで）」とされた再検証等の期限を含め、地域医療構想に関する取組の進め方について、これらの議論の状況や地方自治体の意見等を踏まえ、厚生労働省において改めて整理の上、お示しすることとする。

## 外来医療計画に係る届出の状況について

# 高知県外来医療計画の概要

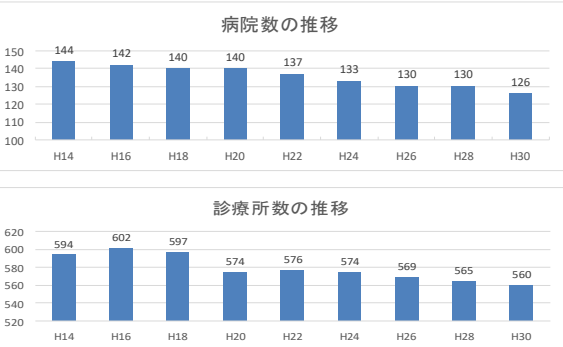
## 1 基本的事項

- 計画策定の趣旨：地域の外来医療に関する情報を新規開業者に提供することで行動変容を促し、地域地域で適切な外来医療提供体制が確保されるよう医療法に基づき各都道府県が医療計画の一部として「外来医療計画」を策定。あわせて、今後人口減少が見込まれる中で、より効率的な医療提供体制を構築していく必要があるため、「医療機器の効率的な活用」についても同計画内において整理。
- 計画期間：令和2～5年度（4年間） \*次期（R6～）計画以降は3年ごとに見直し

## 2 本県の外来医療提供体制の状況

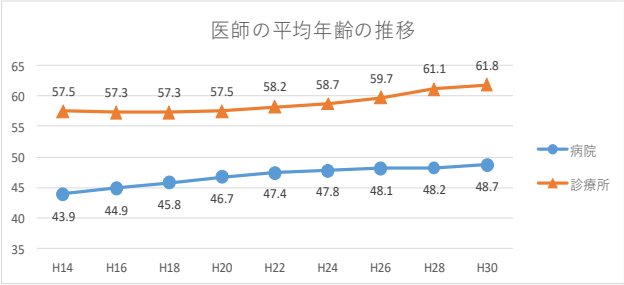
### 医療機関の状況

#### 病院、診療所ともに減少傾向



### 医師の状況

#### 特に診療所の医師が高齢化



### 患者の状況

#### 1日あたりの外来患者は減少傾向

	H17		H20		H23		H26		H29	
	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所
	17.3千人	23.5千人	16.5千人	24.3千人	16千人	23.8千人	15.3千人	20.7千人	14.8千人	19.7千人

#### 特に安芸、高幡の住民の一定数が中央医療圏に流出

		医療機関所在地					
		安芸医療圏	中央医療圏	高幡医療圏	幡多医療圏	県外	
住 所 地	患 者	安芸医療圏	76%	22%	0%	0%	2%
		中央医療圏	0%	99%	0%	0%	0%
		高幡医療圏	0%	31%	66%	1%	2%
		幡多医療圏	0%	4%	1%	92%	3%

## 3 外来医師偏在指標、外来医師多数区域及び新規開業時に求める機能

医療圏	順位	外来医師偏在指標	外来医師多数区域と位置づけ
安芸	60/335 (206/335)*	116.2 (91.0)*	
中央	54/335 (33/335)*	118.2 (125.4)*	○
高幡	45/335 (227/335)*	120.7 (83.4)*	
幡多	222/335 (237/335)*	90.5 (85.3)*	

\*流出入を反映しない場合の順位及び指標(参考値)

○全国335の2次医療圏毎に、診療所の医師の多寡の状態を示す「外来医師偏在指標」を算出し、上位33.3%以内の2次医療圏が「外来医師多数区域」として設定されることとなった。  
 ○この基準に当てはめれば、安芸、中央、高幡の3つの医療圏が「外来医師多数区域」となるが、安芸、高幡の両医療圏は、患者が中央医療圏に流出したことにより指標が上昇しており、これをそのまま反映した指標をもって多数区域と位置付けることは、身近な地域で提供すべきである外来医療の方向性と合致しない。このため中央医療圏のみを「外来医師多数区域」と位置付ける。

○「外来医師多数区域」となる中央医療圏において、新規開業を行う際には、「初期救急医療」「在宅医療」「公衆衛生」の医療機能を担うことを求める。その状況について協議の場（地域医療構想調整会議）において確認を行う。

## 4 医療機器の効率的な活用

(1) 対象医療機器  
 CT、MRI、PET、マンモグラフィ、放射線治療（リニアック及びガンナイフ）

(2) 医療機器の配置状況  
 本県のCT、MRIの台数については、全国平均を上回っており、PET、マンモグラフィ、放射線治療については、ほぼ全国平均並。  
 また、本県の各医療機関における医療機器の配置状況を見える化し、購入の際の判断材料として提供。

圏域名	調整人口あたり台数				
	CT	MRI	PET	マンモグラフィ	放射線治療(体外照射)
全国	11.1	5.5	0.46	3.4	0.91
高知県	19.9	9.5	0.37	3.0	0.96
安芸	10.5	9.7	0.00	2.0	0.00
中央	21.4	10.7	0.52	3.3	1.21
高幡	18.4	5.7	0.00	1.8	0.00
幡多	18.8	5.7	0.00	2.2	0.89

(3) 共同利用計画について  
 今後の人口減少による医療需要の減少を踏まえると、より効率的な医療機器の活用を進めていく必要があるため、医療機関が対象医療機器を購入する場合（更新を含む）は「共同利用計画」を策定し、事前に提出。その内容について協議の場（地域医療構想調整会議）において確認を行う。

## 「高知県外来医療計画」に係る届出の提出状況について

医療機関名	所在地	形態	開業・機器設置日	届出内容
ともざわ整形外科・リウマチクリニック	高知市鶴来巢11番38-10号 あさくらメディカルビル1F	新規開設	R2.5.1	届出内容:地域で不足する機能を担う 医療機能:公衆衛生(予防接種)
三谷医院	香南市野市町西野555番地2	病院から診療所への転換	R2.4.1	届出内容:地域で不足する機能を担う 医療機能:公衆衛生(予防接種)
ひまわり在宅クリニック	高知市与力町12-10 シャトレ片町1F	個人開設の診療所の法人化	R2.5.1	届出内容:地域で不足する機能を担う 医療機能:在宅医療
AGAスキンクリニック高知院	高知市帯屋町1-13-23 アベニュービル3F	個人開設の診療所の法人化	R2.6.20	提出依頼中
くすのせ形成外科	高知市新本町一丁目14-3 メディパーク高知駅3F	住所の移転	R2.7.29	提出依頼中
とさみずき眼科	高知市秦南町一丁目4番8号 2階	新規開設	R2.7.1	提出依頼中
高知こころクリニック	高知市一宮南町1丁目15-13 マルナカ高知インター店3F	新規開設	R2.7.13	届出内容:地域で不足する機能を担う 医療機能:公衆衛生(産業医、学校医、予防接種)
潮江高橋病院	高知市土居町9-18	マルチスライスCTの更新	R2.5.1	届出内容:共同利用を行う 相手方:大川内科、島崎クリニック、市川医院
近森病院	高知市大川筋一丁目1-16	マルチスライスCTの更新	R2.9.25	届出内容:共同利用を行う 相手方:植田医院、福田心臓・消化器内科 等